

令和 7 年 2 月 28 日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）公立高校の在り方について

公立高校の役割など、在り方についてどのように考えているのか、教育長職務代理者に伺う。

（答）

公立高等学校につきましては、地域の中にあって、義務教育の成果を発展・充実させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者を育成するなどの役割があり、とりわけ、県立高等学校は、全県的に機会均等を図る観点から設置され、教育を行うことが求められているものと考えております。

そのためには、まず、高等学校への就学の機会を確保するため、高等学校が県内各地域にバランスよく配置されることが必要であり、私立、市立及び国立の設置状況等を踏まえながら、今後の県立高等学校の適正配置を検討する必要があると考えております。

また、県立、私立、市立及び国立の各学校が互いに切磋琢磨することで、県全体の教育水準の維持・向上を図り、本県の子供たちにとってより良い教育を行うことが、重要であると考えております。

このため、県教育委員会といたしましては、「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画」について、様々な観点から議論・検討を進め、県立高等学校の魅力化・特色化を一層図るなど、教育環境の整備・充実に取り組んでまいりたいと考えております。